

人 世 人
nimn pi nimn



ユ一キ 恵児

登場人物



大谷 (30)

放蕩癖のある詩人。柔和な
外見とは裏腹に、常に恐怖に
さいなまれている。



佐知 (26)

大谷の妻。やさしく気丈だが、
夫の素行の頭を悩ませている。



椿屋の亭主・女将さん

大谷が盗みを働いた小料理屋
「椿屋」の老夫婦。

ひよんな事から佐知をお店で働かせる
ことになった。



小山 (26)

佐知に想いをよせる青年。大谷の
目を盗んで、何度か佐知と情交を
交わすようになる。





ちよつと旦那
！
もう閉店
ですよ！



あゝああ、
こりやダメだ・・・

今夜もずいぶん
召しあつがてる
ようだ



一緒に帰りませんか？



佐知・・・

はい



お邪魔しますよ





まあ、なんと
他人事なこと

一体誰のせい
でこんな事になつた
と思つてゐるんです



元はといえは
あなたが

椿屋さんから
お金を盗んだあげく

お金は返さないと
ナイフを持って
大立ち回りしたからじゃ
ありませんか！



佐知

はあ...



そんな事も
ありましたね

まったく、笑い事じゃ
ないですよ！

奥さん——



実際お宅の旦那は
たいしたものですよ……



すみません



私にはもう
あなたの事が
よく分かりません



魔物——って
いうのはさ……



大抵あの外見と
笑顔にみんな
騙されちまう

いや、意外に
そんな物なのかも
しれねえな……





佐知さん・・・
貴方はこのまま
先生の元には
いけない！



僕はただの
弱い人間なのに・・・

本当の僕を
分かってくれるのは
あなたより他に
・・・いないのです

皆が・・・僕のことを
人非人だ
化物だと

罵るのです！！



私が必ず
救い出します！

明日の晩十一時に
椿屋に迎えにいきます！



なぜ来てくれ
なかったのですか

私は・・・

小山さん・・・

誰も僕を
理解してくれないのです！！

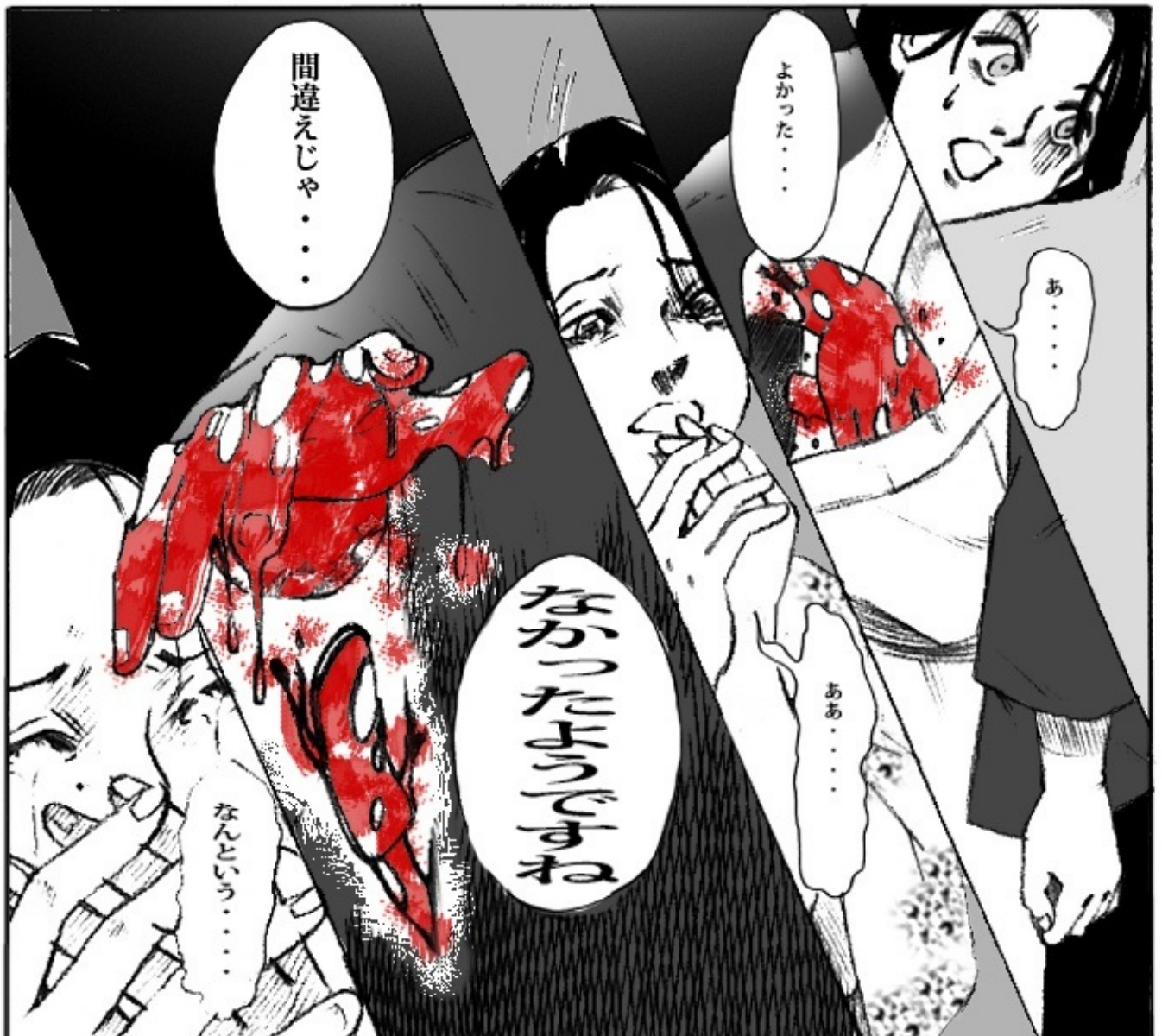




何故・・・
その名前を
知っているのです？



なぜ・・・



間違えじゃ・・・

よかった・・・

あ・・・

なかつたようですね

なんという・・・

ああ・・・



なにせ僕は...

人非人ですから

ニンピニナー人非人ー

<http://p.booklog.jp/book/24571>

著者：ユーキ恵児

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/yuki6329/profile>

発行所：ブックログのパブー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社paperboy&co.

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/24571>

ブックログのパブー本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/24571>